

令和3年6月9日



相談室からのお手紙（6月号）

愛媛県立松山中央高等学校

近所に引っ越してこられた若い奥様から、とても大事なお話を伺うことができました。彼女のお兄さんは、現在アフリカのウガンダで、元子ども兵だった方々の社会復帰のための支援をなさっているのだそうです。

アフリカでは、紛争によって10歳そこそこの子どもたちが拉致・誘拐をされて、強制的に武装グループの中で働かされてきました。地雷除去装置の代わりに地雷原を歩かされたり、ドラッグで恐怖心をなくして敵に突撃させられたり、二度と帰れないようにするため自分の生まれ育った村を襲撃するよう強制されたりしました。帰還できた後も、彼らは元子ども兵であったことから、多くの地域住民から差別や偏見を受け、さらに深く精神的な傷を負っているのだそうです。

この紛争は携帯電話やパソコンに利用されるレアメタルなど鉱物資源をめぐって激化していました。現地で人々の現状を知ったお兄さんたちは「私たち日本人も戦争の当事者である」事実を受け止め、元子ども兵の方々の自尊心の回復をサポートし、手に職をつけ自らの力で収入を得られるように、心のケア・基礎教育・職業訓練など「支援に依存しない、自立のための支援」の活動を始めたのです。

高校の時、お兄さんを訪ねてタンザニアに渡った彼女は、孤児院や病院で働く日本人や、現地の方々との出会いに大きなショックを受けたそうです。その尊い経験と平和への使命感から国際政策学科へと進学し、学びながらお兄さんたちのNPO事務局で手伝いをしていたとのことでした。アフリカ滞在中に様々な経験をし、またアジアなど多くの途上国の実情を聞いて、初めて気づいたことや深く考えたことが沢山あったことでしょう。

お兄さん（大学では生物学系を専攻）は自分の居場所（自分が必要とされる場所）をアフリカに見つけたのでしょ。皆さんがこれから自分の人生をどう歩むべきかを考える時に、このお兄さんの生き方は大きな指針になるのではと思いました。

スクールライフアドバイザー 岡本 綾

★スクールライフアドバイザー来校予定日（12:00～18:00）

6月10日（木）・15日（火）・17日（木）・22日（火）・24日（木）・
29日（火）・7月1日（木）・6日（火）・8日（木）・13日（火）

★メールアドレス

kawamin_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp

★生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、気軽に利用してください。



*～文部科学省よりメッセージが届いています～

児童生徒や学生等のみなさんへ



現在、新型コロナウイルス感染症が広がる中で、皆さんの中には不安を抱えている人がいるかもしれません。新学期の始まり、春休みやゴールデンウィークの終わりなど、不安や悩みを抱えていても、決して一人ではありません。ご家族、先生、周りの友達、誰にでもいいから悩みを話してほしい。私をはじめ、周りの大人は皆さんの味方です。

文部科学省では、24時間子供SOSダイヤルから電話相談を受け付けており、各地域にも電話やSNSなどで相談できる窓口、また、各大学等にも相談窓口があります。周囲に相談しづらいときは、ぜひ利用してみてください。

○相談窓口PR動画「君は君のままでいい」

<https://youtu.be/CiZTk8vB26I> (YouTube 文部科学省公式チャンネル)

○子供のSOSダイヤル等の相談窓口

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

(文部科学省ホームページ)

令和三年五月

文部科学大臣 萩生田 光一

教育相談室より～

スクールライフアドバイザー 岡本綾さんとお話しませんか？

松山中央高校にも、皆さんのいろいろな悩みや不安を聞いて、これからのことを一緒に考えてくれる窓口があります。

スクールライフアドバイザーの岡本綾さんです。岡本さんは、皆さんが悩んでいる時に、皆さんの心の整理をお手伝いしてくれます。本校の卒業生で、学校のこともとても詳しいので、きっと皆さんの気持ちを理解してくれるはずです。学校生活、友人関係、家族、進路など、どんな悩みでも話しに来てください。おしゃべりでも大歓迎です。いつでも皆さんを待っています。

(＊表面に来校予定日を載せています。)

